

# 株主の皆様へ

第74期 中間報告書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

証券コード 3946

株式会社トーモク

# TOMOKU

Packaging Innovation



## 株主の皆様へ



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第74期第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間は、震災の復興需要など内需が牽引し国内経済は緩やかに回復してまいりましたが、欧州の債務問題、米国や中国の景気減速による成長の鈍化、長期化する円高等の影響により、国内景気の先行きに不透明な状況が続きました。

その中で当第2四半期連結累計期間の売上高は642億63百万円（前年同期比7.7%増）、経常利益は9億78百万円（前年同期比7.7%増）、四半期純利益は3億9百万円（前年同期比42.9%減）となりました。

セグメントの業績は3～4ページに記載の通りでございます。

通期では連結売上高1,500億円、連結経常利益79億円、連結当期純利益41億円を見込んでおります。

以上ご報告の通りでございますが、中間配当金につきましては1株につき3円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

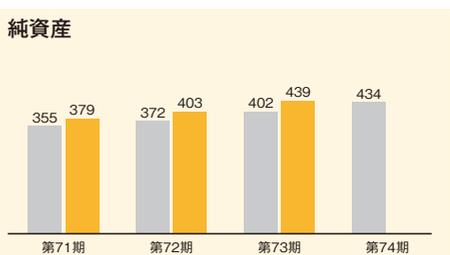
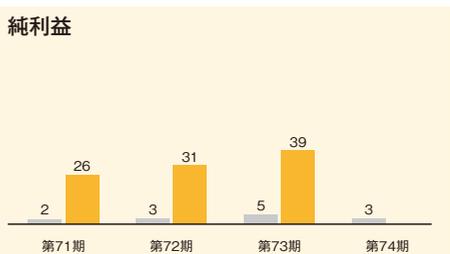
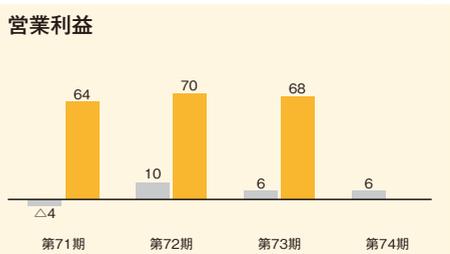
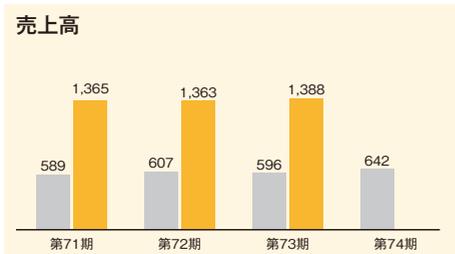
平成24年12月

代表取締役社長 齋藤 英男

# 財務ハイライト

- 連結売上高 **642億63百万円** (前年同期比 7.7%増)
- 連結経常利益 **9億78百万円** (前年同期比 7.7%増)
- 連結四半期純利益 **3億9百万円** (前年同期比 42.9%減)

■ 第2四半期 ■ 通期  
(単位: 億円)



## セグメント別 業績

### 段ボール

売上高**404億円**（前年同期比**6.5%増**）

段ボールにおいては、飲料等の加工食品向けや通販・宅配向けの需要が伸びましたが、全体としてはほぼ前年並みの水準で推移しました。

当社グループの段ボール生産量は、連結子会社として大一コンテナーが新たに加わり増加いたしました。当社の主力工場である館林・小牧両工場の生産能力の強化を進めるとともに省電力化対策として工場内照明のLED化や今夏の猛暑・節電対応にも生産シフトの変更や休日対応等能動的に取り組んでまいりました。また、お客様の高度で多様化したニーズにお応えするために生産力の強化や品質面での一級品作りに積極的に取り組むとともに昨年の震災で被災した仙台工場の業績の回復に努めました。この結果、売上高は404億31百万円（前年同期比6.5%増）となり、営業利益は33億96百万円（前年同期比18.6%増）となりました。



館林第3工場

## 住 宅

売上高**129億**円（前年同期比**9.4%増**）

住宅においては、東日本大震災の被災住宅の再建などの復興需要やフラット35Sの金利優遇措置が再導入されたこともあり新設住宅着工戸数は前年同期比微増となりました。スウェーデンハウスの強みである高気密・高断熱による省エネ性能をアピールして販売に努めた結果、売上高は129億円（前年同期比9.4%増）、また売上が下半期に集中し上半期はコストが先行するという住宅の特性もあり、営業損失は30億69百万円（前年同期は営業損失25億5百万円）となりました。



八王子モデルハウス

## 運輸倉庫

売上高**109億**円（前年同期比**10.2%増**）

運輸倉庫においては、夏場の猛暑により飲料部門を中心として取扱数量が増加しました。燃料価格が大きな変動もなく推移する中で、生産性の向上やコスト削減に努めた結果、売上高は109億31百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は7億9百万円（前年同期比11.7%増）となりました。



トウウンサービス羽生センター

## 四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

区 分	前第2四半期 連結会計期間末 (平成23年9月30日現在)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成24年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成24年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産	50,208	52,208	54,327
固定資産	57,699	58,248	57,949
有形固定資産	46,341	46,690	46,293
無形固定資産	529	498	529
投資その他の資産	10,827	11,060	11,127
<b>資産合計</b>	<b>107,907</b>	<b>110,457</b>	<b>112,277</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	39,716	37,677	42,319
固定負債	27,983	29,340	26,007
<b>負債合計</b>	<b>67,699</b>	<b>67,017</b>	<b>68,326</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	39,241	42,346	42,318
資本金	13,669	13,669	13,669
資本剰余金	11,138	11,138	11,138
利益剰余金	15,097	18,204	18,174
自己株式	△ 664	△ 666	△ 664
その他の包括利益累計額	△ 241	△ 297	100
少数株主持分	1,208	1,391	1,532
<b>純資産合計</b>	<b>40,208</b>	<b>43,440</b>	<b>43,951</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>107,907</b>	<b>110,457</b>	<b>112,277</b>

### Point 1 資産の部

総資産は、前連結会計年度末比1,819百万円減少し110,457百万円となりました。  
 流動資産では、受取手形及び売掛金の2,774百万円増加、たな卸資産の2,316百万円増加がありましたが、現金及び預金の7,808百万円減少などで、前連結会計年度末比2,119百万円減少の52,208百万円となりました。  
 固定資産では、有形固定資産の397百万円増加などで、前連結会計年度末比299百万円増加の58,248百万円となりました。

### Point 2 負債の部

負債の部は、前連結会計年度末比1,309百万円減少し67,017百万円となりました。主な内訳は長期借入金の3,426百万円増加、流動負債のその他の3,244百万円増加がありましたが、1年内返済予定の長期借入金の6,108百万円の減少、支払手形及び買掛金の1,443百万円減少などによるものです。

### Point 3 純資産の部

純資産の部は前連結会計年度末比510百万円減少し43,440百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の208百万円の減少、少数株主持分の140百万円減少などによるものです。

## 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

区 分	前第2四半期 連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前連結会計年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
売上高	59,682	64,263	138,845
売上原価	48,761	52,469	111,292
売上総利益	10,920	11,794	27,553
販売費及び一般管理費	10,291	11,113	20,700
<b>営業利益</b>	<b>628</b>	<b>681</b>	<b>6,853</b>
営業外収益	690	649	976
営業外費用	410	352	711
<b>経常利益</b>	<b>908</b>	<b>978</b>	<b>7,118</b>
特別利益	71	22	357
特別損失	128	283	410
<b>税金等調整前四半期(当期)純利益</b>	<b>850</b>	<b>716</b>	<b>7,065</b>
法人税、住民税及び事業税	1,200	1,457	2,631
法人税等調整額	△ 845	△ 942	283
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	496	201	4,149
少数株主利益	△ 46	△ 108	249
<b>四半期(当期)純利益</b>	<b>542</b>	<b>309</b>	<b>3,900</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

区 分	前第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,095	△ 1,421
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,874	△ 3,401
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,884	△ 2,965
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 53	△ 19
現金及び現金同等物の増減額	△ 8,908	△ 7,808
現金及び現金同等物の期首残高	15,376	14,653
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	386	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,855	6,844



小平モデルハウス

## スウェーデンハウスとは。

トーモクは段ボール事業の他に、住宅事業として「スウェーデンハウス」を展開しています。

夏涼しく、冬暖かい高気密・高断熱性に加え、

阪神・淡路大震災の倍という振動にも耐えうる高強度や

福祉とデザインの国・スウェーデンならではのユニバーサルデザインに基づくバリアフリー設計、

緩やかな階段や車椅子でも通れる幅の広い廊下、居室間の温度差ゼロなど、

高齢者や障害者に優しい介護型住宅としても注目を集めています。

## トーモクとスウェーデン住宅との出会い。

住まいを単なる器としてではなく、ハード・ソフト両面から研究するのがトーモクの住哲学であり、それをすべて満足させるのがスウェーデンの住宅でした。北欧の大自然が育んだ天然木の温もりと、それに包まれた快適な暮らし、そのよろこびを日本の人々にも伝えたい。1984年のスウェーデンハウス株式会社設立以来、理想の住まいを追求しています。そしてこれからも、家族みんなを優しく包み込むような、人に優しい住宅を提供していきます。



暮らし方の新提案「mjuk(ミューク)」

## 木を大切にするスウェーデンの住哲学。

樹齢の高い木を切り、新しく木を植えた方が森林として、二酸化炭素を吸収する量が増えたとされています。切った木で家をつくるスウェーデンハウスは、小さな森をつくることと同じ



スウェーデン ダーラナ地方

なのです。トーモクは、木を大切にするスウェーデンの木造住宅が持つ高い基本性能に日本の高度な加工技術を融合し、かつ長期にわたって安定供給するため、1991年にスウェーデンに住宅部材供給会社として「トーモクヒュースAB」を設立し、現地工場を稼働させています。

# 主要な営業所および工場 (平成24年9月30日現在)

当 社	本 社	東京都千代田区	
	工 場	館林 (群馬県館林市) 厚木 (神奈川県厚木市) 大阪 (大阪府門真市) 九州 (佐賀県基山町) 浜松 (静岡県浜松市) 新潟 (新潟県聖籠町) 仙台 (宮城県岩沼市) トモプレスト (群馬県明和町)	岩槻 (埼玉県さいたま市) 札幌 (北海道小樽市) 小牧 (愛知県小牧市) 清水 (静岡県静岡市) 青森 (青森県青森市) 山形 (山形県山形市) 千葉紙器 (千葉県長南町)
スウェーデンハウス 株式会社	本 社	東京都世田谷区	
	支 社	北海道 (北海道札幌市) 北関東 (埼玉県さいたま市) 東京 (東京都新宿区) 名古屋 (愛知県名古屋市) 九州 (福岡県福岡市)	東北 (宮城県仙台市) 千葉 (千葉県船橋市) 横浜 (神奈川県横浜市) 関西 (大阪府大阪市)
	住 宅 展 示 場	北海道地区 (11ヵ所) 関東地区 (36ヵ所) 関西地区 (7ヵ所)	東北地区 (2ヵ所) 名古屋地区 (8ヵ所) 九州地区 (5ヵ所)
トーウンサービス 株式会社	本 社	埼玉県さいたま市	
	事 業 所	北海道 (北海道小樽市) 北関東第一 (群馬県明和町) 北関東第三 (群馬県千代田町) 南関東 (神奈川県厚木市) 西日本 (滋賀県甲良町)	共同物流 (埼玉県羽生市) 北関東第二 (群馬県千代田町) 北関東第四 (埼玉県さいたま市) 中部 (岐阜県瑞穂市)
株式会社 トーシンパッケージ	本 社	埼玉県加須市	
株式会社 トーモクヒュースAB	本 社	東京都千代田区	
	工 場	本社 (埼玉県加須市)	大利根 (埼玉県加須市)
サウランドボックス カンパニー	本社・工場	米国カリフォルニア州L.A.地区	
トーモクヒュースAB	本社・工場	スウェーデン国インシヨン	

## 会社の概要 (平成24年9月30日現在)

### 会社の概要

社 名 トモク株式会社  
TOMOKU CO.,LTD.

本 社 〒100-0005  
東京都千代田区丸の内二丁目2番2号  
電 話 03-3213-6811  
F A X 03-3213-2825

創 業 昭和24年(1949年)5月27日

資 本 金 136億6,987万円

### 役員

代表取締役社長 斎藤 英男

専務取締役 岡田 正人

常務取締役 内野 貢

常務取締役 中橋 光男

常務取締役 廣瀬 正二

取締役 栗原 由行

取締役 新井 孝

取締役 村井 秀壽

取締役 有賀 毅

取締役 岡本 良夫

常勤監査役 羽石 晴夫

監査役 澤田 達樹

監査役(社外) 田中 秀一

監査役(社外) 坂上 誠

上席執行役員 南 義久

上席執行役員 神戸 渉

執行役員 奈良 隆

執行役員 山下 省一

執行役員 宮坂 朋純

執行役員 吉能 久記

執行役員 井上 光男

執行役員 深澤 輝隆

執行役員 山口 禎人

## 株式の状況 (平成24年9月30日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数 290,098,000株

発行済株式の総数 96,707,842株

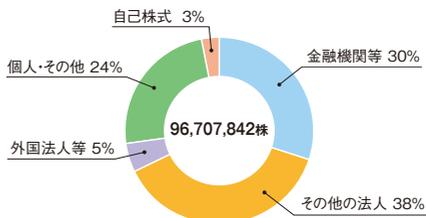
株 主 数 6,717名

### 大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	出資比率 (%)
ホッカンホールディングス株式会社	8,522	9.11
三菱商事株式会社	8,435	9.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,782	5.11
丸紅株式会社	4,618	4.93
株式会社みずほコーポレート銀行	3,748	4.00
日本製紙株式会社	3,500	3.74
特種東海製紙株式会社	2,700	2.88
トモク共栄会	2,445	2.61
日本生命保険相互会社	2,424	2.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,104	2.25

(注) 1. 当社は、自己株式3,209千株を保有しておりますが、上記から除いております。  
2. 出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日 その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。
配当金支払株主確定日	期末配当金につきましては3月31日、中間配当金の支払いを行う場合は9月30日といたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所、札幌証券取引所
公告掲載新聞	日本経済新聞

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いきませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株式会社 トーモク TOMOKU CO., LTD.

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-2-2 丸の内三井ビル 4 階

TEL.03-3213-6811 FAX.03-3213-2825

<http://www.tomoku.co.jp/>